

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日作成

事務事業名		子どもフェスティバル実行委員会運営支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	生涯学習課	担当者名 渡辺紀子
	基本事業	59	地域における子育て支援		所属班	生涯学習班	(内線) 1504
					法令根拠	合志市子どもフェスティバル実行委員会規約	

予算科目	会計 1	款 10	項 5	目 7	事業連番 -	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 11	コスト削減優先度評価結果 6*41
------	------	------	-----	-----	--------	----------------------------------	-----------------------------------	--------------	-------------------

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成14 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
子どもフェスティバルの企画会議や準備等の事務局として支援を行う。

【業務の流れ】
市内の小中学生により「子ども実行委員会」また、子どもの育成にたずさわる各種団体により「大人実行委員会」を組織し、子どもの企画会議でのアイデアを大人が支援しながら開催準備を行い、総合センター全館を使用して子ども劇団公演や各種体験活動の場を市内の子どもに提供する。

【主な予算費目】
一般会計：職員給(事務局相当分)、子どもフェスティバル実行委員会会計：(報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料)

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	20年度に同じ
子どもフェスティバル実行委員会の開催 子どもフェスティバルの開催		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 回 → ア 子どもフェスティバル関係の活動行事数
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内の中学生以下	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 子どもの人口(4才~14才)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	子どもの健やかな育成に寄与する。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人 → ア 子どもフェスティバルに参加した子どもの数
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	地域で子どもを見守り、育てていく。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 目 標 合 計 値 画 22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計		千円	0	0	0	0	0	0	
	うち指定経費		千円							
	うち時間外、特殊勤務手当		千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	1	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	240	600	600	600	600	600	
(B)人件費計		千円	953	2,388	2,388	2,388	2,388	2,388		
トータルコスト(A)+(B)		千円	953	2,388	2,388	2,388	2,388	2,388	0	
活動指標	回		15	15	15	15	15	15		
対象指標	人		6500	6500	6500	6592	6592	6600	6600	
成果指標	人		1500	1500	1600	1785	2000	2000	2000	
上位成果指標	%		49.7	37.1	47	34.2	46	45		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成14年度に旧合志町の子どもたちを対象に「子どもフェスティバル」が始められたことから開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併前は旧合志町の子どもが対象だったが、合併後旧西合志町の子どもたちも対象になり、数は倍増した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
年々参加者数が増加している。合併後3年目を向かえ、旧西合志町方面にも浸透してきている。

事務事業名	子どもフェスティバル実行委員会運営支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 活動を支援してくれる団体との交流を通して、多くの大人に子どもを見守る地域づくりにかかわってもらうことで、政策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 行政職員が団体の事務方として、かなりの業務を行って支援することは、本来の職務ではなく再考するべきである。実行委員の増員など、それぞれの負担の軽減化が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 現状では、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 既に一定の成果を挙げていると考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 学校や地域を超えて子どもたちの豊かな体験活動や遊びを支援する大規模な場が無くなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 基本的に職員給のみであり、その業務負担を軽減することができれば従事時間を削減し、事業費を削ることもできる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 前項目に同じ。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 広く全市の子どもたちに参加の機会があり、公平であると思われる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ③ 効率性: 成果は一定以上の水準があるとされる。しかし、事業実施のための負担が大きいため、今後の懸案事項となっている。												
<table border="0"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 市の財政状況の変化により、本事業の開催形態も大きく変わってきた。今後は負担がより少なく、円滑に開催し、効率よく、経費も減らしながら開催できるよう実施方法を工夫することが大きな課題となる。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
事業の進行方法を工夫し、それぞれの担当の負担を軽減するなど、今までの水準を保ちながら効率を上げること。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)